

ゆりのこでは、よりよいサービス提供を目指し、厚生労働省が定める児童発達支援ガイドラインに基づいた自己評価を行い、公表しています。十分でない項目については改善を図り、より安心してご利用して頂けるよう努めていきます。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準に基づいた設備となっています。
	2 職員の配置数は適切であるか	○			配置基準に基づいた職員配置を行っています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			車椅子での移動には問題ない構造となっています。浴室、トイレ、プレイルームなどイラストを貼って視覚的にも場所がわかるようにするなどの工夫をしています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			過ごす年齢層や活動内容によって、机や棚、ベッドなどを移動させたりして、過ごしやすい環境整備をその都度行っています。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			法人の人事考課制度に沿って、PDCAサイクルによる人事考課を行っています。
	6 保護者等向け評価表により、保護者に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価を実施しています。年に2~3回保護者懇談会を設け、事業に対する意見、要望をお聞きする機会を設けています。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか			○	ホームページで公開しています。今後も年1回、評価を実施し公開していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			苦情解決についての第三者委員を設置しています。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			法人内研修の参加や外部研修の参加を取り入れています。
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			年度ごとに保護者から最新の情報やご希望を頂き、アセスメントを更新しています。それらをもとに支援計画を作成しています。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			標準化された書式のシートを使用しています。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか			○	それぞれの利用者の年齢や発達段階、個人の特성에応じた支援内容を盛り込むことができるように心掛けてはいますが、ガイドラインを意識した内容かどうかという視点については、まだ十分でない部分もあります。ガイドラインの視点をしっかり取り入れつつ、適切な支援内容設定ができるようにしていきます。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		年齢、発達段階、個人の特性に合わせた計画を立て、それに沿った支援ができるようにしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		療育担当責任者の発案をもとに、職員間で情報を共有しながら活動プログラムを進めています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季節やイベントに応じた内容の活動を取り入れ、年間を通して様々な活動を行うことが出来るようにしています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	○		個人の得意なことや好きなことは個別活動として行い、皆で楽しむことができるおやつ作りや創作活動、季節行事などを集団活動として取り入れることで、人とかかわる楽しさを知るという目的を、支援計画の中に反映させています。
	17	支援開始前には、職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日日案を作成し、情報共有しています。また、朝の会の中で、一日の流れをご利用者にご伝えることに併せて、職員の役割分担の確認も行っています。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○	終わりの会の中で、一日の活動の振り返りをご利用者と共にしていますが、支援の振り返りまでには至らないこともあります。定例の会議の中で支援の振り返りは行っていますが、確実に次の支援につながるよう、振り返り時間の確保や方法の工夫をしていきます。
	19	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		支援計画の項目に基づいた記録をするように徹底し、児童発達支援事業が確認を行っています。

	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			半期に一度、モニタリングと支援計画の見直しを行い、保護者との懇談を行って確認して頂く時間を設けています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じてその他職員も参加できるように配慮しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			必要に応じて連携を取り合い、情報共有しながら支援を展開できるようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援をおこなっているか	○			必要に応じて様々な機関と連携を取り合い、情報共有しながら支援を展開できるようにしています。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○			保護者との情報共有の中で主治医からの指示などを明確にした上で、連絡体制をとることができるようにしています。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要に応じて関係機関との情報共有を行っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて連携を取り合い、研修などにも参加できるようにしています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	事業所から該当場所へ出向いて交流するという機会は積極的には設けられませんでした。交流も意識しながら活動プログラムに反映させられるよう努めます。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			児童発達支援管理責任者が中心となって参加し、必要に応じてその他職員も参加できるように配慮しています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の送迎の際に、一日の様子を報告しています。また、定期的に懇談の機会を設けて保護者のニーズを確認し、支援計画に反映させています。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	年に2回の懇談会を行ったり、日々の申し送りの中で保護者からの相談など必要に応じて受けてはいますが、ペアレント・トレーニングという視点では十分には行っていない部分もあります。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用開始にあたり、あらかじめ重要事項説明書と契約書を説明しています。

保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか			○	それぞれの利用者の年齢や発達段階、個人の特性を踏まえながら、説明を行っています。しかし、ガイドラインを示しながらの説明には至っていないので、これらの視点を盛り込んだ説明ができるようにしていきます。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			随時、相談に応じています。また、必要に応じて、関係機関の協力も得ながら行っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に2回程度、保護者や家族との交流会を実施しています。

	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			法人の苦情解決制度に基づいて、迅速に対応しています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			本体事業所の学園報に適宜、情報を記載し、発行しています。
	38	個人情報に十分注意しているか	○			随時、職員間で情報の取り扱いには注意するように確認し徹底しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			必要に応じて個別に対応し、わかりやすくお伝えできるようにしています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			本体事業所の夏祭りを通しての地域交流はありますが、事業所独自では実施できていません。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員間で適宜確認しています。しかし、保護者への周知には至っていないので、周知できるよう努めます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか			○	事業所独自の訓練には至っていないので、定期的にも実施できるよう計画します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○			利用開始の際は保護者から必ず確認しています。また、日々の引継ぎの中でも最新の情報を提供してもらい、健康面、医療面について把握できるようにしています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			必要に応じて医師の指示に基づいた情報を保護者から確認し、職員間で情報共有を行っています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			該当事例は、支援記録の中で「ヒヤリハット」として確実に記録します。そして、月1回の職員会議の中で、情報を共有し検証と再発防止に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			各職員が毎月セルフチェックシートを記入し、行動や業務の振り返りを行っています。それらの集計を法人全体で行い、定期的に分析、公表することで、改善、防止に努めています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			毎月、検討委員会で検証しています。必要がある際は保護者への確認や説明なども確実にを行い、支援計画にも盛り込んでいます。